

「真砂」は直営ではなくて、指定管理者を公募するのはなぜか  
市長 広く公募して指定管理先を選定。



高木和恵 議員

**議員** (株) 原城振興公社には市から2千万円の出資金がある。二人は市の充て職かまたは個人か  
**市長・副市長** 回答なし。

**議員** 真砂は福祉施設か  
**地域振興部長** 福祉施設ではない。

**議員** 旧給食センターの建物と備品の処分についてはどうされるのか。  
**教育次長** 北有馬は解体。

備品の処分については、オークション、競り売り等、今後検討していく。

**議員** 通勤通学道路の完成はいつか。  
**市長** 令和7年度の予定。

**議員** 世界遺産センター建設は誰のためか。  
**市長** 地域のみならず観光客に愛される施設になると考えている。

**議員** 赤字が大きくなったらどのような責任をとるのか。  
**市長** 責任を取る取らない以前に、必要な施設であると考えている。

**議員** 真砂のお風呂は本当に天然温泉か。  
**地域振興部長** 温泉である。

**議員** 道の駅の買い手は2社。地元の業者は辞退。辞退届は出ているか。  
**副市長** (みずなし本陣(株)へ) 提出されていた。

**議員** 新聞記事では道の駅の買い手(株)エバグリーンに副市長2,500万円、職員500万円を融資。現在アペクシ

ア(株)に売却、金の回収はできているのか。  
**議長** 全員協議会の申し合せ中に話した話じゃないんではないか。

**議員** 私は「申し合わせはしない」と言った。融資した金は回収できているかを質問。申し合わせで喋らせんとは違反。  
**議長** 喋るなどは言っていない。常識の範囲内で質問してください。皆さんで決まった。その質問は中止して、他の質問に移ってください。議事進行は間違っていないと思う。議長権限である。

【路線跡地の名称】

市道名	市道 南島原自転車道線
事業名	南島原市自転車道整備事業
工事名	市道 南島原自転車道線整備工事〇〇工区



質問の様子を動画で見よう

田中次廣 委員長  
決算審査特別委員長報告(概要)  
〔認定第1号「令和5年度南島原市一般会計歳入歳出決算の認定について」を不認定

主な質疑

〈総務部関係〉

**質疑** 合併特例債の残りの枠と、発行額、現在の返済額は。  
**答弁** 合併特例債の発行可能額は、ハード事業分として338億5,620万円。ソフト事業で基金に積立てた分として38億円。合わせて、376億5,620万円が発行可能額となっている。令和6年度の補正予算までに、369億8,880万円を借入れ予算化しており、残額が6億6,740万円になっている。繰上償還を行い、負担軽減を図り、令和5年度の決算として、約86億円の市債現在高となっている。

**議員** 1社の特命随意契約となっているが、契約の相手先と特命随意契約の理由と、指名願等は提出されていたのか。  
**答弁** 特命随意の相手方は、株式会社リミックスポイント。指名願は出されていない。特命随意の理由は、マスタープラン計画は、短期間の事業期間内で計画を策定する必要があり、その策定期間を長く確保する必要があったというのが理由。

**議員** 特命随意の出さず、株式会社リミックスポイント。指名願は出されていない。特命随意の理由は、マスタープラン計画は、短期間の事業期間内で計画を策定する必要があり、その策定期間を長く確保する必要があったというのが理由。

**議員** 国の補助を受け策定したことから繰越しが認められない事業で、単年度で終わらせる必要がある事業になっている。  
**答弁** 国の補助を受け策定したことから繰越しが認められない事業で、単年度で終わらせる必要がある事業になっている。

**議員** 期間的に厳しいといふのは分かる。いろいろな業者が全国にいると思う。1社のみにするとい

うのは、手取り早くないのかもしれないが、3社で見積りを取るといふ考えはなかったのか。  
**答弁** 株式会社リミックスポイントは、リニューアルする道の駅の施設の脱炭素化などについて、道の駅の受託事業者とともに、どういう形でしているのか検討されていたところである。市のほうにも、道の駅の脱炭素化を図っていくのはどうかという提案を頂き、市としても、道の駅の賑わいを取り戻すとか、市の目指している脱炭素に寄与するというようなところが、提案をもち、国へこの補助金の応募をした。南島原市の事業を理解していることから、特命随意という形で行った。

〈教育委員会関係〉

**議員** 原城の土地の購入は、あとのぐら残っているのか。  
**答弁** 全体で、48万平米

～南島原市議会活動レポート～

長崎県市議会議員研修会



令和6年8月22日(休)、佐世保市において長崎県市議会議長会議員研修会が開催され、県下各市議会から多くの議員が参加されました。

地方議員研究会 黒瀬 雄大 氏より「老朽化に備える公共施設マネジメント政策」についての講話がありました。

老朽化した施設等により災害が発生した事例や、長崎県各市の施設等の現状が紹介され、課題と解決のための取組など理解を深めました。

島原半島3市議会議員合同研修会



令和6年8月8日(休)、島原市のホテルシーサイドにて、第13回島原半島市議会議員合同研修会が開催されました。この研修会は、島原半島の3市が連携し、地域の課題解決に共に取り組むことを目的としています。

今回の研修会では、長崎県産業労働部の宮地智弘部長から「島原半島の未来について」というテーマで講演をいただきました。企業誘致を中心に成功事例や条件などお話しいただき、参加者にとって大変有意義な時間となりました。

ほどあり、そのうちの7割を購入している。残りの方は、現在農業をしている方がいて、必要な場所についてはお願いをしている。

**議員** 学校支援教育推進事業の中で、目標に対して実績が下がっている部分があるが、少なくとも理由は。  
**答弁** 特別支援教育推進事業の特別支援教育助手の配置が95.3%になっているが、応募枠に対する募集をかけても応募者がいかなかったというのが現状。それから学校支援員配置事業の小学校については、86.7%で、15名の目標に対して13名ということになる。配置できていないのは、深江小学校の馬場分校と諏訪分校だが、両分校については、担任数にプラス1で、県費負担の教職員が配置されているので、学校支援を置く必要性がなかったということである。それ以外の小・中学校につ

いては、全て学校支援員を配置している。残りの方は、現在農業をしている方がいて、必要な場所についてはお願いをしている。

べき債権が回収されないままになっていることは、不公平ということもあるので、催告書を本人宛てに送付する。それに対して納付がない場合は、戸別に訪問し納付の話をしたり、連絡が取れない場合は、保証人に話をし納付をお願いして、滞納の整理をしている。

**議員** サテライトオフィス等開設支援事業補助金9千万円の概算払いの件で、エバグリーンから市に対し行政不服申立てがなされたということだが、市の対応は。また、返還命令を出したのに返ってきてない。これらについて説明を。  
**答弁** エバグリーンから出された行政不服申立ては却下され、通知をされている。それから督促は、本日(17日)が期限で、現段階では入金されていない。市は、法に基づいて手続を行っていき、仮差押え等、訴訟に今後動いていく。

**議員** 妊産婦医療費助成金は、申請した人が、自己負担額の合計額から5万円を差し引いた額の3分の2ということですが、一番安い人が1千円で、高い人は10万円を超えているので、このあたりは分析を行い、今後もっと助成金を使えるような形に

は、申請した人が、自己負担額の合計額から5万円を差し引いた額の3分の2ということですが、一番安い人が1千円で、高い人は10万円を超えているので、このあたりは分析を行い、今後もっと助成金を使えるような形に

は、申請した人が、自己負担額の合計額から5万円を差し引いた額の3分の2ということですが、一番安い人が1千円で、高い人は10万円を超えているので、このあたりは分析を行い、今後もっと助成金を使えるような形に

は、申請した人が、自己負担額の合計額から5万円を差し引いた額の3分の2ということですが、一番安い人が1千円で、高い人は10万円を超えているので、このあたりは分析を行い、今後もっと助成金を使えるような形に